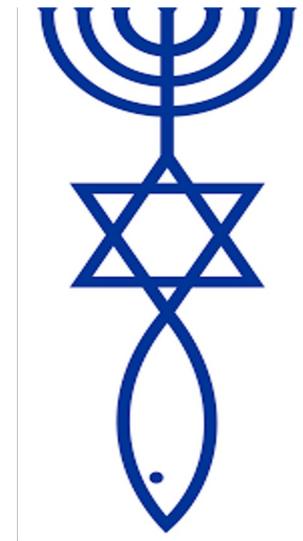


イスラエルのための祈り
IDFと超正統派
2024/11/25恵比寿マンデー



800

24/11/20 イスラエル政府による発表

「本日、残念ながら 10月7日以来 800人目となる戦死者が出た。この1年間、IDFの兵士と予備役兵士は、国民の命を守るために 自らの命を犠牲にして戦ってきた。あの日以来毎日、彼らは わが国と国民の自由のために戦ってきた。

これらの兵士の一人一人には、自分の人生があり、家では 家族が彼らの帰りを待っていた。一人一人の顔を忘れないでほしい。

彼らの勇気は 決して 忘れ去られることはない。」

IDF兵士の不足問題

2024年6月 イスラエル最高裁の判決 政府は超正統派にも徴兵を命令できる

：1948年の建国以来 超正統派は勉学優先で徴兵制免除の対象だった

2024年 夏 3,000人に招集令状 送付->応じたのは10%未満

大多数が拒否している現実。抗議デモなども発生。

現在 兵役対象となる超正統派は 63,000人

(現役兵士 169,500人 予備役兵士465,000人)



一般市民の間で高まる不満 優遇措置の受益者

男女問わず18才からの徴兵制（男性32ヶ月、女性24ヶ月）を免除

ユダヤ教の学業優先で働かず、経済的保護を受けている(男性の就労率50%)

⇒ 貧困率 一般市民 平均の二倍 : 一般市民の税金による支え

出生率が高く、現在 人口比14%だが 今後 比率が増大傾向

社会を構成するメンバーとして優遇され過ぎている:不公平感の高まり

祈りの課題

- 戦争の長期化と戦線の多方面への拡大で IDF兵士の不足が 問題化する中、IDFと政府の指導者たちに 知恵が与えられるように。
- 超正統派の徴兵問題が 社会の分断を引き起こすことなく、国民が一致へと導かれるように。
- 日々 国のために戦っているIDFの兵士たちを主が 守って下さるように。危険と向き合う中 兵士たちが 神を求め、神と出会うことができるように。
- 戦没者のご遺族に 主の慰めが与えられるように。